

IPBESアセスメントの概要



IPBESアセスメントの特徴①

- 独立した政府間組織が実施
- 公募(政府及び関連団体からの推薦)で選ばれた専門家による 執筆
- 政策課題に対応したテーマ・内容で作成され、報告書の採択に は加盟国の合意が必要
- 政策決定に有用 (policy-relevant) な情報を提供するが、政策 規定的 (policy-prescriptive) ではない

IPBESアセスメントの特徴②

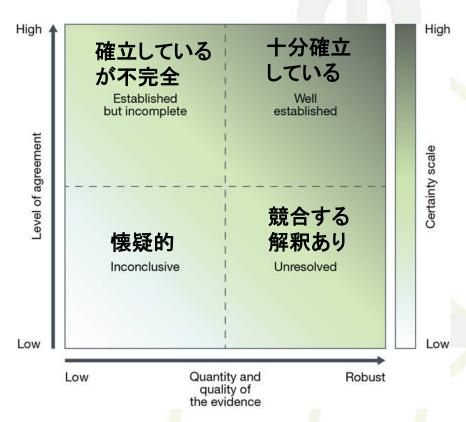
- アセスメントとは、特定のテーマに関する知見(学術論文やその他文献数千本)を分析、統合し、客観的に評価すること
- 文献レビューとの相違点:

	文献レビュー	アセスメント
ターゲット	科学者	政策決定者
執筆者	少人数	大人数、学際的、政府・組織による推薦
政策課題への対応	任意	必須
信頼度の明示	必須ではない	必須
ギャップの特定	好奇心・探究心からの追求	政策課題の解決に向けた実施
査読プロセス	少人数の同領域の専門家に	専門家、政府、多様なステークホルダーに
	よる匿名のレビュー	よるレビュー
一般向けの要約	必須ではない	必須
成果物	学術論文	報告書、政策決定者向け要約

アセスメント報告書の特徴

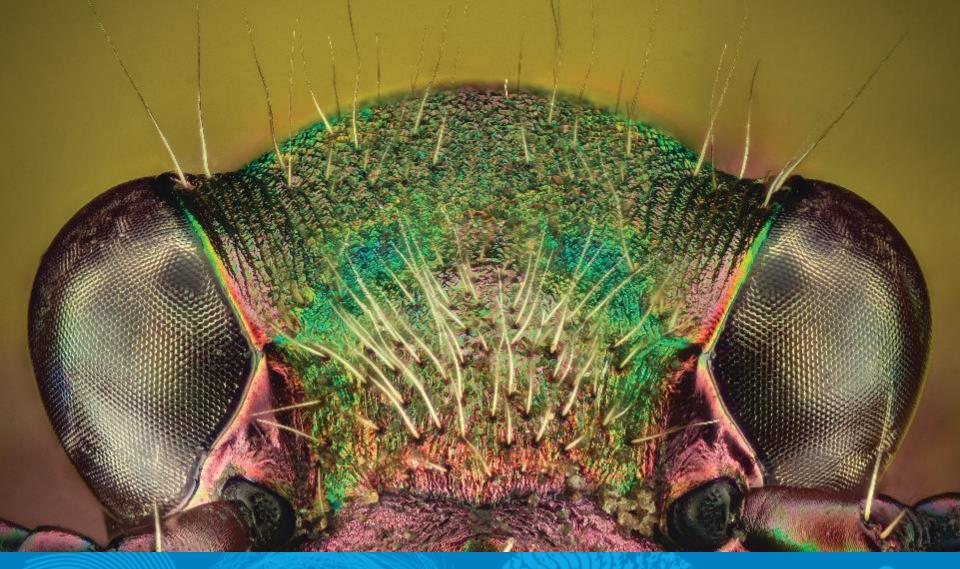
- ▼ アセスメントのスコーピング報告 書に対応する構成
- 各章のエグゼクティブ・サマリー から主要メッセージを統合した、 政策決定者向け要約(SPM)が 鍵となる
- それぞれの主要メッセージに信頼 度(Confidence level) を記載
- 主要メッセージの根拠をたどれるよう、関連する章番号が記載される

信頼度(Confidence level)の示し方



アセスメント報告書の構成

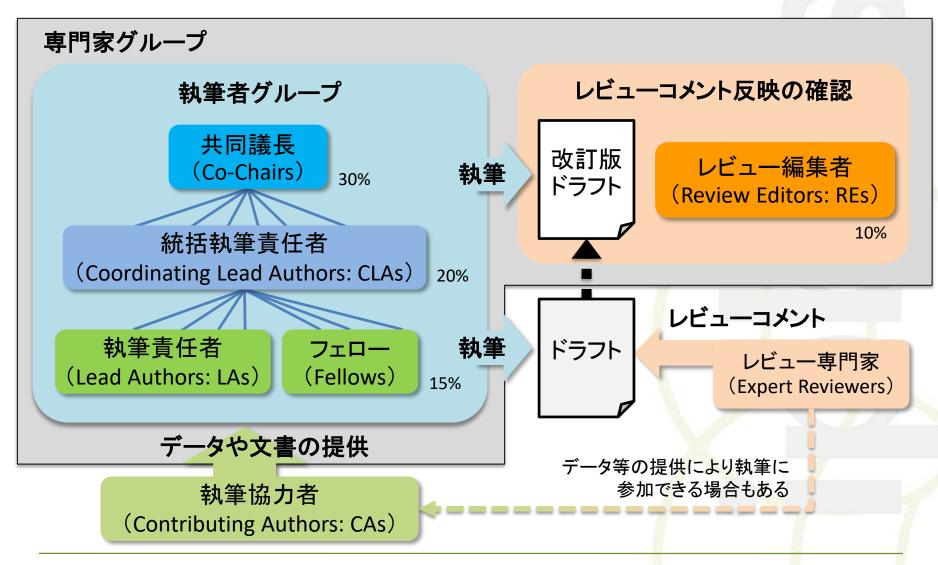
- フロントマター(目次、序文、謝辞等)
- II. 政策決定者向け要約:Summary for policymakers (SPM) (キーメッセージ+バックグラウンド)
- III. 各章: Chapters (報告書本文: 6章構成が多い)
- IV. バックマター(用語集、略語リスト、アセスメント専門家リスト、レビュー専門家リスト等)



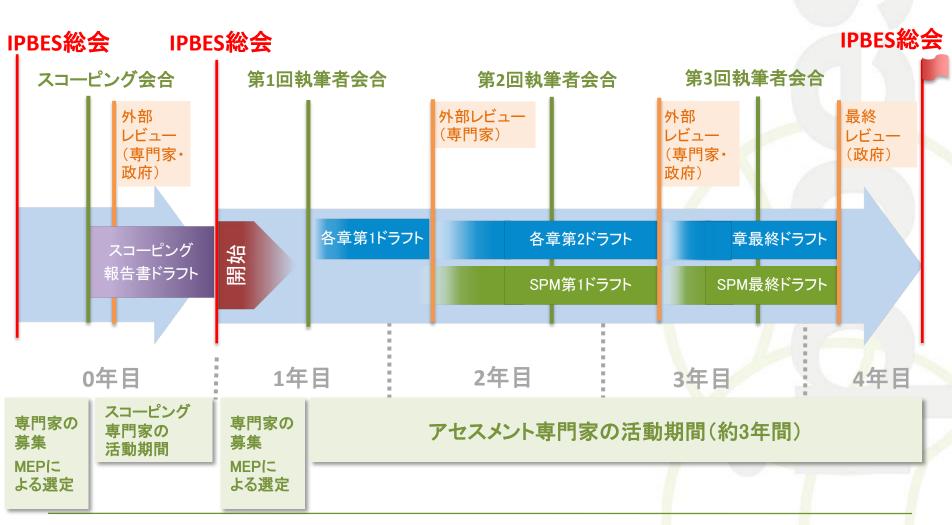
2 アセスメントのプロセス



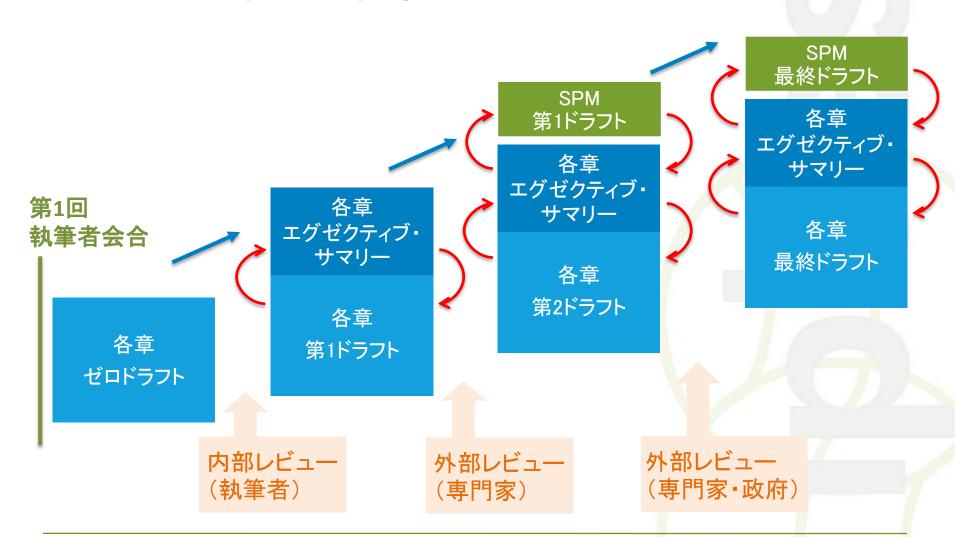
アセスメントに関与する専門家の様々な役割



アセスメントプロセス



アセスメント報告書執筆作業工程



その他の特徴的なプロセス

■ ILK(先住民・地域社会の知識体系)対話ワークショップ

- 加盟国の政府担当者(ナショナルフォーカルポイント)との 対話会合
- ステークホルダー向けウェビナー



侵略的外来種アセスメント第1回ILK対話会合 (カナダ・モントリオール)

評価報告書の承認・受理プロセス

- IPBES総会中に、ビューローメンバーが議長を務めるワーキンググループ(分 科会)で交渉される
- 議長の他、壇上にはアセスメント共同議長とCLAのチームが座り、各国の質問 に答える
- SPMは、一行ごとに交渉した後、全会一致のもと承認(Approve)される
- 各章の本ワーキンググループでは検討しないが、SPMに沿った内容が記載されているという理解文はのもと受理(Accept)される

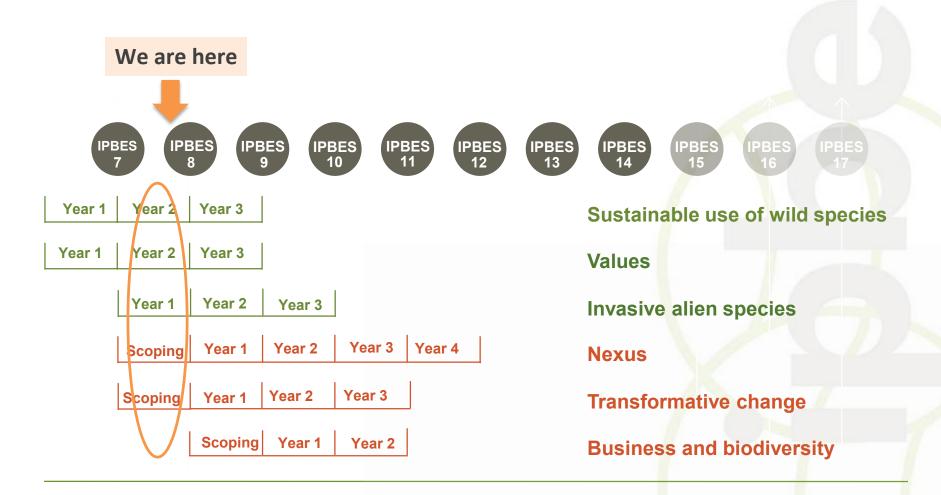




う。 今後のスケジュール



第2期作業計画(2019~2030年)の当面のスケジュール(アセスメント)



今後の専門家公募・外部レビュー等の参画機会

- (実施中)~3月19日 価値概念化アセスメント第2回外部レビュー
- 3月25-26日 ビジネスアセスメント・スコーピングオンライン会合
- 4月15日~6月10日 持続可能な利用アセスメント第2回外部レビュー
- 6月3~9日 第8回IPBES総会のステークホルダーDay
- 6月14~24日 第8回IPBES総会
- 未定(夏頃?) ネクサスアセスメント・社会変革アセスメントの専門家及び フェロー公募
- ※IPBESウェブサイトに登録すると、通知が送付される





IPBES Secretariat, UN Campus Platz der Vereinten Nationen 1, D-53113 Bonn, Germany secretariat@ipbes.net

